

公益財団法人天風会認定 名古屋の会ご案内

2020年9月発行

〒461-0001 名古屋市東区泉三丁目17番10号
泉ビル 5階 502号室
TEL/052-325-2075 FAX/052-325-2076
e-mail/tempu052@trust.ocn.ne.jp
<http://tempukai-nagoya.com>
<https://tempukai-nagoya.jimdofree.com>
事務所/火曜、木曜 13時～16時(祝日休)



今後の名古屋の会の予定

12月末までの通常の講習会、日曜行修会、恵那秋期行修会は、全て中止いたします。

オンライン講習会

開催日/ 9月5日(土)

担当/天風会講師・國分博継

講題/『宇宙と人間』

時間/13:30- 15:00

13:30- 14:00 講話

14:00- 15:00 質疑と談話(休憩あり)

参加費/無料

*どなたさまもご参加頂けます。

開催日/ 10月10日(土)

担当/天風会講師・堀田亜希子

講題/『心を虚に 気を平らに』

時間/13:30- 15:00

13:30- 15:00 講話と質疑

15:00- 15:30 談話会(参加自由)

参加費/無料

*研修科のため天風会員限定とさせていただきます。

インド・ネパール行修旅行こぼれ話 長島啓修

7月号志るべにゴルケ村行修旅行を掲載してもらいました。ここでは、インド・ネパールで感じた事をこぼれ話としてまとめてみました。

(カリアップ師について)

・一説には、イギリス王室に招かれる人だからチベットの聖者第15代カルマツパ師(1871～1922行年51歳)であるとの説があります。

・今回トレ寺院でお会いしたサンドウ導師はドツパ派でカルマ派のカリアップ師は知らないが、カルマツパ師とカリアップ師は別人だと言うと話されていました。

・当時のダージリンはイギリスの統治下で紅茶と避暑のために鉄道まで引き、イギリスの高官も大勢住んでいたようです。そうしたコミュニティの中で高名なヨギのカリアップ師がイギリスに招かれるのは自然の流れだったと感じました。

(天風先生修行の地について)

・天風先生は講演の中で、インドへ行って1年半余り過ぎたころカリアップ師に「何故病みさらばえていた私を救ってくださろうと思ったのですか」と聞くとカリアップ師は「お前ならきっと悟れるだろうと思ったからだよ。お前はどこに行くのかも聞かずにいてきた。今どこにいるか分かるか」と聞かれ「ペルシャ辺りですか」というと「違う、違う、あの山々はヒマラヤで、あそこに

見えるのが第3ピークのカンチェンジュンガだよ」と教えられたと話しています。

しかし、ゴルケ村からカンチェンジュンガは見えません。徒歩だと丸1日がかかりでマネパンジャン村から更に上に行かないと見えないのです。毎日の修行で行ける距離ではないのです。また、天風先生が修行されていた滝は水量が多く滝の底が見えないほど深かった。と言われていますが、ゴルケ村の滝は水量が少なく滝壺は膝位の深さでした。

天風先生はクンバハカを会得するのに1年7か月かかったと言われています。会得せずに山の奥に入ると豹や大蛇の餌食になる。会得したものののみが山の奥に入ることを許されたと言っています。現在のゴルケ村には、ヨガの修行者はいませんでした。村の人に聞くとヨギの人達は山の奥に拠点を移したと言われていました。ですから、カンチェンジュンガも滝もその山の奥の景色なのかもと思いました。

(ゴルケ村について)

ネパールの秘境中の秘境でした。近くのフィッカル街から2年前までは車で4時間もかかるころでした。でも天風会ゆかりの人はとても多く来ていました。作家のおおいみつるさん、神渡良平さん、25年前に天風会の清水専務理事一行、広島の実業家、千葉の代表の吉田さん一行。その他にも大勢来ているようです。ここの若者のシッタさんは昨年まで箱根湯元ホテルで3年間の実習をしてきたそうです。

現在郵送でご案内を受け取られている皆様へ

メールでの配信をご希望の方は事務局宛にメールにてご連絡ください。メールと郵送の両方をご希望の場合はその旨をお書き添えください。

*オンライン講習会に参加をご希望の方で、まだ「名古屋の会 zoom 行事参加登録」をされていない方は、名古屋の会事務局宛にメールにてご連絡ください。登録者には、開催日前日にオンライン講習会の zoom 招待状をお送りいたします。